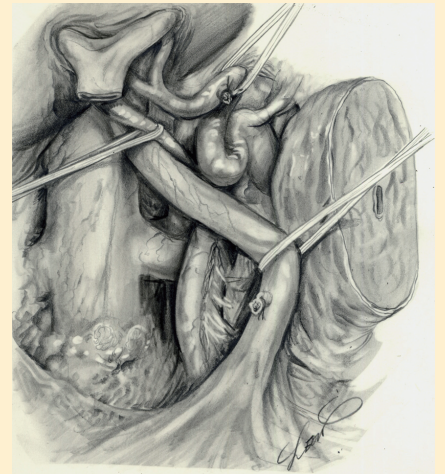


日本イラストレーター協会では、日本全国あるいは世界各地で活躍している皆様にJIAの活動を様々な形でお知らせしています。今回はPDFの形式の会報で、新年度の理事をご紹介しましょう。



- ※はじめに
- 理事挨拶 (五十音順)
 - 青木瑠璃 (東京都)
 - おじやらか (東京都)
 - 高橋和会 (東京都)
 - 聖ミナス (神奈川県)
 - りよう (神奈川県)
 - レオン佐久間 (埼玉県)
 - 蟹江隆広 (東京都)
 - 二〇〇九年度会計報告
 - 入会のご案内
 - 会員特典と会員規約
 - JIAの歩みと二〇一〇年のイベント



理事 青木瑠璃
(東京都)

アートとイラストの世界に生きて、一〇十X年過ぎました。始めた頃にはわからなかった、私なりの法則をここでご紹介したいと思えます。賛否両論あるかと思いますが、余興としてお読みいただけたら幸いです。

一、売れるものと売れないもの
これは、自分がどんなクリエイターになりたいかによって異なります。一部のマニアに認められたのか、たくさんの人に喜んでもらいたいのか。孤高の存在で自らの信念を貫くのもカッコウいと思えますが、私にはまね出来ません。

二、現代アートについて
一部の現代アートは現在投資の対象となつています。これは警戒しなければなりません。私たちの作品の価値を無視した投資は、作品を楽しむということを忘れてくるからです。作品を楽しんでほしい、大切にしてほしい、子供のように思っている方には悲惨な結果となつてしまいます。

三、喜んでもらうということ
いろいろと本を読んだり、勉強したり結論は、その作品がだれかに喜んでいただけるかどうか、ということでした。もちろん、好きな作品をつくることに關して否定するものではないことを、ご理解いただけたらと思います。誰かの役にたつ事、誰かに喜んでいただけることで、世の中の仕事が成り立っているという法則は、決してアート、イラストレーションの世界でも例外ではないと感じています。作品は喜んでいただける誰かのために制作できたら、理想の世界が描



けると思えます。

アート&イラストとは一見関係がないのですが、三年ほど前から、ヨーガの勉強を始めました。きっかけは、もつとい絵が描けるようになったら、精神的にもっと高い人になれたら、という不純な？動機だったのですが、始めてみるともっと精神的な深いところへの影響があることに気づきました。ヨーガの影響が目標は、精神的な高みに到達することです。(オーム真理教とは無関係ですよ！)

ヨーガの教えの中で、「日常生活で使えそうなものが、「結果を気にしない」ということです。私たちは、仕事をするなかで、いつも結果を優先して考えがちです。でも、ヨーガの教えでは、結果よりも何をしたのか、誰に良いことをしたのか、ということが重要なのです。自分の思ったシナリオが時には失敗に終わることがあっても、結果を気にせずに進むことが重要だと解いています。不景気な世の中ですが、次々にトライすることで次のステップにいけるのではと思います。

これからの時代は、より精神的なものが必要視されるのではないかと考えています。ヨーガは、インド四千年の歴史のなかで洗練されてきた思想なので、たくさん学ぶところがあります。美術を創ることは終りがなく、苦しみと共に喜びであると思つて、これからもトライしていきます。



理事 おじやらりか
(東京都)

会というものには、なんらかの存在の目的があり、会員という状態を継続するというのには、個々の目的があると思えます。多くの方に支持され、会員である状態を継続していただくためには、どのような会にならなければならぬのか。理事として、会員の方に、自分が何かできることがあるのか。会が、良い会になつてゆくために、私には、どのようなお手伝いができるのか。そういう事を考えながら、何年か理事を担当させていただきました。

会員数も増え、四七〇人を越えました。機会があるたびに、皆様の作品を拝見し、会としてのイラストのクオリティも、物凄く高くなってきていて、会が成長していきと感じています。JIAは、イラストレーターの会なので、まずは『個々の絵の力をもっと力をあげてゆく』という部分に着目して、イロイロな企画を主催して参ります。

一つ一つに参加するだけでも、新作を作り、自分のイラストを客観的に見たり他の会員さんと技術情報の交換などが自然に広がってゆくカリキュラムとなっております。会員さんは、会費を払うだけでなく、会の主催するイベントにも、どんどん参加をしてください。仲間の素晴らしいイラストに触れると、信じがたい程の刺激を受け、また、イラストに対するモチベーションもあがってゆきます。

JIAとして、会員さんにできることは何かも考えてゆきます。会として、会員のイラストの露出を増やし、仕事を直接取れるような仕組みを強化してゆ



く流れを作ることです。たとえば、検索エンジン結果上位表示(SEO効率を上げてゆく)を果たすこと。ホームページへのリンクを張ること。作品ファイルの作り方、名刺の作り方などを情報を整備し、会員の営業力を向上させてゆくこと。才能豊かな、優れた作家さんを発掘し、仲間を増やしてゆくことなどです。結果が出てきていと感じています。

クライアントさんは、良い絵を探し続けています。厳しい時代ではありませんが、良い絵が、適切な場所で露出をすれば、必ずチャンスは広がってゆきます。作品ファイルはまだ作ったことがない方は、是非チャレンジしてください。客観的に自分の作品を眺めるチャンスとなり、自分の進むべき道が見えてくる方が多いのではないかと信じています。作品ファイルはおじやら画廊に無料で置くことができます。



理事 高橋和会
(東京都)

会員のみなさま、こんにちは。高橋和会（たかはしかずえ）と申します。二期目を勤めさせていただくことになりました。私は、普通の大学を出て、イラストレーターのアシスタントからキャリアを始めました。その後デザイン会社へ転職し、Macでのデザインとイラストの仕事をしてきた後、フリーランスになりました。全く専門的な勉強をして来なかったのですが、現場で学び、分からない事は本を読んでほとんど独学でやってきました。印刷の知識を持った上での表現ができることはプラスになったと思っております。反面、手描きの楽しさを十分理解せずに過ごしてきたので、このごろはアクリル画も時々描いています。

これまでの経験を生かし、今回『日本イラストレーター年鑑2010』のデザインを担当させていただき、多少なりともお役に立てて良かったと思います。協会のみならずはパラエティに富んでいて、画家の方、漫画が得意な方、手描きの方、ウェブ中心の方などお仕事の活躍先や内容も様々なので、作品データの扱い方について知識にも幅があるための、打合せの結果、なるべく単純で作業効率の上がる作り方になりました。改善の余地はたくさん承知しておりますが、今後さらに皆様の作品が引き立つものにしていけると思います。

今回掲載者のみなさまにデータをいただいて、そのまま使用できる全く問題のないデータは3割ぐらいでした。何で絵を描くかという事は自由ですが、それを適切に伝える手段を理解しておくこと

はとても大切です。印刷用のデータとウェブ用のデータの違いは両方分かる必要があり。それをあらかじめおさねておくことで、仕上がりの良さが、見る人に伝わらないことになってしまわないように。

また、データの届け方を覚えておくことが、トラブルが回避できるようなります。パソコンの回線のスピードが上がり、どこにいてもつながることができるようになりました。社会になりましたが、パソコンの使用環境は同じではないので、送る人と受取る人のプロバイダー、パソコン、OS、メールソフトの違いによってデータが受け取れなかったり、開けなかったりするのです。そのようなトラブルを最小限にするためのポイントをいくつかご紹介いたします。（熟知している方はご容赦ください）

- データ名やファイル名は、英数半角で（日本語や全角英数は避ける）
- 圧縮形式はzipがベター
- データに拡張子.jpg, .png, .eps等をつける
- 相手の受信制限を確認する（会社によっては、受信容量を制限したり、特定形式の添付データははじく設定になっている）

データの作り方などについて、覚えていざという時がある方は、お気軽にご相談ください。（マナーをお忘れなく。）今年もみなさまのお役に立てるよう、楽しくがんばりますので、よろしくお願ひ致します。



理事 聖 Mina
(神奈川県)

JIA会員の皆様こんにちは。四期目の理事を拝命いたしました聖 Mina です。

まずは私事で大変恐縮ですが、昨年末活動名を聖月那未から本名である、聖（みな）に変更いたしました。読めない名前だと活動に支障があるとの思い込みから本名を使うことを避けて参りましたが、名前も自己の表現の一部であると思いきり、このように変更いたしましたことをまずはご報告申し上げます。

また、もう一つ個人的なことになりましたが、7月23・24・25日の三日間サンエール相模原において、個展を開催いたします。「DEVA VOIR」と称し、天使や妖精のイラストを多数展示する予定です。お近くまでお越しになるご予約がございましたら、是非、お立ち寄りください。お待ちしております。

時が経つのは早いもので、去年の会報であれがやりたいこれがやりたいなどと書いてから、もう一年の余が経ってしまったのかと、今、この原稿を書きながら頭も掻いています。私にとって昨年度は自己に大きな波、そして変化があり、個人としてあるべき姿とはなにかを更に追求、模索した年となりましたが、表立ってはあまり大きな動きをせずに終わってしまいました。

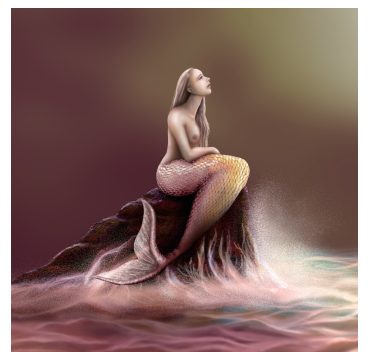
では今年は何と考えるのですが、今はまだいい感じに力が抜けている状態でもありません。まあ、ちょうど雨が降って土が柔らかくなっている・といった感じでしょうか。アイデアはあるけど、具体的に

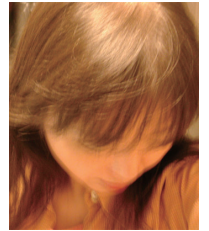
なプランとして出てこないのはまだもう少し、時間が必要なかもしれません。しかし、この状況で7月に初の個展を開催するというのは私にとっても意味あることになると感じています。

本日も個展を開催する会場の掲示板に貼られているチラシの更新に行きました。そこは市の多目的施設なので、いろいろなサークルが活動しています。チラシの張り替えをしていくといるるな方が話しかけてきてくれました。どうやって描いているのかなど質問され、絵一枚を通して、わずかな時間ですが、話がはずみました。私にとって絵はコミュニケーションツールであると改めて感じた次第です。これからも絵と共に成長していきたい。そしてそれを叶えるのがJIAであると思っています。

様々な画風を持つアーティストの皆様との出会い、そして催されるパワフルな展示会の数々にこれからも参加、そしてまた、自らもプロデュースしていけたらと思っております。

最後になりましたが、今まで使っていたサーバーの閉鎖により、HPを引越したいたしました。新しいURLはJIAのサイトにリンクしております。ブックマーク、そしてリンクしていただいておりますお手数ですが張替えをお願いいたします。本年もどうぞよろしくお願ひいたします。





理事 りよう
(神奈川県)

JIAの皆さんこんにちは。2期目の理事を勤めさせて頂くことになりました「りよう」と申します。宜しくお願致します。

昨年より会員の皆様のギャラリーページの更新・修正作業をお手伝いさせて頂いています。皆様に接することができない唯一の場所だと感謝して、徐々に更新を進めております。用件のみのお返事になり、大変失礼を致しておりますが、お気づきの点等ございましたら、お気軽に声をかけて下さい。

「月に夢見て」(兎の作品)

中学生の頃より絵本作家になろうと志した私は、本屋で絵本を読み漁っていました。気に入った絵本の作者プロフィールでM美術大学出身と書いてありましたので単純に志望大学を決めました。ですが、大学においては絵本とは縁のない暮らしを送っていました。絵を描く事が得意としても面白いストーリー性が無いと絵本は完成しないし、色んな人生経験が必要だと、またまた単純に思った訳です。絵を描く以外何をしたらいいのか。働けばいい事なんです。食べるのに困らない子供の私には解りませんでした。

数年前、カンボジアのゴミ山で働く少女をテレビで観て以来、その光景がずっと脳裏に焼きついていました。彼女は病気で働けない両親の為に、身体の成長もままならないまま当たり前のように働いています。何が善悪か決める前に基本的なものが満たされていない環境に、私はやるせない気持ちでいました。



兎がゴミ山でなく、野菜の山の上に居るのが見えますでしょうか、人の身体は食べるもので構成されるといいます。正しく循環していく為に自然界はちゃんと教えてくれています。媒体はイラストです。しかし、兎が月を見て憧れているようですが、実は月にいる兎が地球を見つめているようにも見えます。絵に限らず人の「見方」次第で要因のない媒体でも様々な姿に映し出されます。

WEB媒体では少し違います。点一つでも間違った言葉を伝えてしまうと誤作動を起こして、見難い状態を、当たり前のように繰り返してしまう事になります。逆に規定でも個々の要望が同じように反映されません。ここでは「見え方」です。ギャラリページを更新修正する際にも「見え方」の確認、ご指摘を戴く事は大変重要になります。

「夢を現実に現実には努力を」

教科書に落書き等、絵ばかり描いていた私の小学生時代の論文、文集に掲載されたタイトルです。偉そうに書いています。が、子供は正直です。そして今は、その時の言葉に反省したり励まされたりしています。

これから構築していく予定のネットショップにおいて、沢山の夢が掲載され、今までの働きの山を元に素敵な「見え方」に出来るよう、努力する次第です。皆様の夢が現実に叶えますよう。



理事 レオン佐久間
(埼玉県)

イラストレーターは・・・詩人・夢追い人・予言者・観察者・職人・学者・芸術探求者・政治家・デストロイヤー・・・地球の全ての在り方を表現する役割を担ったイラストレーターが私たちである。

日本イラストレーター協会設立の趣旨も、視覚表現全ての分野に必要不可欠なイラストレーションに携わる表現者としての社会的貢献度を広く周知し、知財権益を確保するべく、職能的擁護と職業領域の確立で生活権を約束される立場を構築すること。そしてそれに見合う個々のスキルの上を目指し、プロフェッショナルなイラストレーターの砦として立ち上げられたものだと思えます。

私はメディカルイラストレーターとして三十年近く医学領域におけるアカデミックなイラストレーションを手掛けております。欧米では専門的な教育を学び当該資格を得ることなしに論文カウントされる学術書への描画はできません。日本ではイラストレーションのための医学研修の機関は皆無であり、メディカルのイラストを描く方は沢山いますが、メディカルイラストレーターを標榜できるイラストレーターは存在しません。

メディカルイラストレーターは医師以上に医学的知識と臨床的解釈ができなければならず、あらゆる角度からの描画や解剖的に間違いのないデフォルメ表現を求められます。厚労省や文科省の医学領域への予算については大規模プロジェクトCGなどの視覚表現には潤沢な拠出はあっても医学現場に最も必要な臨床医学



や基礎医学のアカデミックな図説イラストレーションへの環境整備が全くありません。国レベルで専門領域のイラストレーターの職業域を担保し、社会的ステータスを確保することで、安定した生活と更なる技術の向上が図れる社会環境を求めていかなければならないと思います。

日本の表現職種の中で、唯一制度的に職業的孤立状態であるイラストレーターの立場改善の必要性を感じています。私もそうでしたがイラストレーターの殆どは非常に弱い立場にあります。それは仕事の性質上、その多くが徒を組まず一人作業であり権利主張が極端に不利な環境にあることです。クリエイティブであり、技能者であるイラストレーターが、あまりに軽んじられている為に、数多くの優秀な描き手が消えていった事実を沢山見してきました。

技術的にも感覚的にも日本の描き手の素晴らしさは欧米に負けていません。多くのイラストレーターがいつまでも安心して納得いく仕事をしていけるように当協会が知財権や交渉権、法的擁護でイラストレーターの砦となり、技術向上と人材育成および情報供与の拠りどころとなればと思います。そんな役割のお手伝いできればと理事の末席に加えさせていただきます。本当に微力ですがよろしくお願ひ申し上げます。



理事長 蟹江隆広
(東京都)

今年には日本イラストレーター協会年鑑を初めて紙媒体の本という形で出版することができました。同時に出版元として登録しましたので、晴れて出版業務ができるようになりました。このことは多くの可能性を秘めています。例えば絵本を出版したいと思つて出版社に作品を持ち込んで、現実に出版までこぎ着けるのはほんの一部の人でしょう。出版社はリスクを恐れるあまり、新人の発掘には積極的でないように思われます。また自費出版という形で、多額のお金を請求する出版社も見受けられますが、余り良心的でない会社もあるようですので、気を付けなければなりません。

今後は日本イラストレーター協会でも自由に絵本を出版することが可能になります。誰にでも出版するチャンスが生まれます。アマゾンでの販売や、ネットでの販売が考えられます。これまでただ受け身で仕事を待つことしかできませんでしたが、これからは出版業者として、イラストの仕事を生み出すことが可能になる訳です。

日本イラストレーター協会のホームページには毎日たくさんのお知らせがあります。このホームページを通してたくさんの方が発注されています。会員の皆さんも日本イラストレーター協会に入会してから仕事が増えたという人が多いことと思います。時々会員の方達から「こんな仕事を頂きました」という報告を頂くことが私にとっても喜びであり、励みにもなっています。入会された皆さんも「仕事を増やしたい」という切実な思いで入会される方も多いと思います。そう

いう皆さんのご期待にある程度は添えているという自信があります。

しかしイラストの仕事を紹介するというのは日本イラストレーター協会にとつて主目的ではありません。これに甘んじることなく、「日本を代表するイラストレーター」の団体として何をすべきか「いつも考えています。私が一九九九年に日本イラストレーター協会を立ち上げたのは、イラストレーターの社会的な地位を向上させたいという思いからです。私はそれまでフリーや会社で数千件のイラストの仕事に携わってきました。ずいぶん理不尽な目にもあつてきました。裁判で戦つて勝ち取った経験も数回あります。しかしその頃はイラストレーターの団体が存在しなかったか、存在してもただの仲良しクラブのようなものがほとんどでした。私は相談するところもなく孤軍奮闘していました。そんな経験から本当の意味でイラストレーターを支援する団体が必要だと感じていたのです。

私がイラストの仕事にコネクトする際には、イラストレーターの権利を守られるよう、不利な条件はなるべく正してもらい、また不勉強なイラストレーターに対しては、教育するよういつも心がけています。そんな地道な活動が実を結んでいると思います。皆さんと共に今後の活動について考えていきたいと思ひます。



二〇〇九年度 会計報告

(二〇〇九年一月一日～二〇〇九年十二月三十一日)

支出の部	
荷造運賃	103,570
水道光熱費	101,878
旅費交通費	96,470
通信費	170,704
広告宣伝費	300,107
接待交際費	94,371
損害保険料	19,980
福利厚生費	129,996
消耗品費	543,767
地代家賃	1,040,000
雑費	128,035
事務局人件費	2,520,000
理事報酬	403,885
アルバイト料	82,440
コンペ審査員報酬	75,000
協会展、コンペ賞金	540,000
イラストレーターに支払い	8,592,637
総支出	14,942,840

収入の部	
売り上げ	10,138,523
年会費継続	1,752,000
コンペ入選者の入会	78,000
その他入会	1,265,000
コンペ出品料	825,500
協会展参加費	463,000
雑収入	1,564
総収入	14,523,587

前年度より繰り越し	723,587円
今期計上黒字	△419,253円
来年度に繰り越し	304,334円
2009年度 退会者	68名
継続	292名
2009年度 新規入会者	128名
2009年12月31日会員数	420名

日本イラストレーター協会入会のご案内

日本イラストレーター協会は1999年4月1日に、イラストレーターの地位向上を主な目的として設立されました。現在会員数約470余名となり、名実共に日本を代表するイラストレーターの団体に成長しました。主な活動としては、新人発掘の為イラストのコンペ、仕事を評価する年度賞、ウェブによるイラストレーターの紹介、イラストの仕事の斡旋、イラストレーション年鑑の発行、協会展の開催、会員同士の交流会を開催するなど幅広く活動を行っています。

イラストでお仕事をされている方の会員を募集しています。入会ご希望の方は日本イラストレーター協会のホームページの「入会のご案内」のページから入会審査をお申し込み下さい。入会審査には通常4~5営業日かかります。入会審査に合格した方は、通知後2週間以内に入会金5000円と年会費6000円の合計11000円を、下記いづれかの口座までお振り込み下さい。何か理由があって入金が遅れる場合、その旨ご連絡下さい。

記号 10110 番号 58939641 日本イラストレーター協会

ジャパンネット銀行 本店営業部 普通 2132173 ニホンイラストレーターキヨウカイ

入金確認後に認定証と会員証をお送りします。JIAのホームページに作品を掲載しますので、JPEGデータをメールに添付して、<webmaster@jpn-illustr.com>までお送り下さい。

作品はお一人1ページに大2点、または小4点のどちらかお好きな方が選べます。

大きい方はタテ×ヨコ=220,000ピクセル以内になるようにして2点まで。

小さい方はタテ×ヨコ=100,000ピクセル以内になるようにして4点まで。

ギャラリーのトップページに貼る画像サイズはタテ、ヨコとも142ピクセルです。

作品のデータは全てRGBモードで、解像度72dpiのJPEGファイルにして下さい。ファイル名はサムネイルを「会員番号.jpg」にして下さい。(例:080101.jpg) 作品は「会員番号_1.jpg」

「会員番号_2.jpg」・・・(_はアンダーバー)にして下さい。

「作品展示ギャラリー」は一年ごとに大1点または、小2点新しい作品が追加できます。年会費お支払い後2週間以内にお申し込み下さい。「作品展示ギャラリー」にホームページアドレスを掲載し、リンクします。ただしアーティスト紹介サイト、日記が中心のブログなどは掲載しません。ホームページがない方で、メールアドレスを掲載ご希望の方は「メールアドレス掲載希望」とお知らせ下さい。会員のホームページは「会員リスト」のページからもリンクします。相互リンクして頂いた場合は目立つようにカラー表示されます。

お仕事などの情報をJIA通信(メーリングリスト)で配信します。またmixiの中に「日本イラストレーター協会」という名前でもコミュニティもありますので、ご参加お待ちしております。メールマガジンでもイラストに関する情報を配信しています。

その他の特典として、業務提携しているRoughStoneのサービスを受けることができます。提携しているおじゃら画廊が割引料金でご利用頂けます。珈琲アトリエアズに作品を展示して頂けます。詳しくは日本イラストレーター協会のホームページをご覧ください。住所、電話番号など変更があった時、また退会を希望される場合は事務局までお知らせ下さい。

日本イラストレーター協会 事務局

〒169-0074 東京都新宿区北新宿3-36-2 ハイツ末広202号室

TEL&FAX 03-5386-3155

Email : info@jpn-illustr.com

URL : http://jpn-illustr.com/

会員特典

1. イラストのお仕事を紹介、斡旋を受けられます。
2. 会員の方の作品をJ I Aのホームページなどで発表します。
3. あなたがホームページをお持ちの場合はリンクします。
4. 「イラスト年度賞」に3点まで、無料で応募することができます。
5. International Illustration Competitionに無料で1点出品することができます。
6. メーリングリストによるJ I A通信などで、仕事などの情報を受け取ることができます。
7. 毎年開催される日本イラストレーター協会展に出品することができます。
8. 日本イラストレーター協会年鑑に掲載することができます。
9. その他、交流会など各種イベントなどに参加することができます。
10. イラストの仕事上のトラブルに対する対処法などの相談を受けられます。
11. 提携している画廊を割り引き料金で使用できます。
12. 提携しているRoughStone (RS) のサービスを受けることができます。
13. 珈琲アトリエアズに作品を展示することができます。
14. お友達をご紹介頂き、その方が会員に認定されると紹介手数料として、お一人入会につき3000円をお支払いします。

会員規約

1. 日本イラストレーター協会（J I A）はイラストレーターの社会的地位向上を第一の目的とし、会員はこの目的に同意しなければならない。
2. 入会審査合格後2週間以内に入会金5000円および年会費6000円の合計11000円を指定の口座に支払うこと。年会費は入会した日から1年間有効とする。会員を継続する場合は会員証の有効期限が切れるまでに年会費として6000円を指定の口座に支払うこと。指定期日までに入会金または年会費の支払いが困難な場合は、支払い可能日を速やかに事務局までメールで伝えること。
3. 自分以外の作家の著作権、肖像権を侵害してはならない。
4. イラストレーションの仕事に責任を持って、クライアントが満足するように仕事を進めねばならない。
5. 日本イラストレーター協会がコーディネートする場合は、コーディネーターの指示に従うこと。
6. クライアントから直接仕事を受注する場合は、自己責任で仕事を完了すること。万一トラブルが発生しても日本イラストレーター協会は責任を負わない。
7. 退会はいつでも自由にできる。退会を希望する場合はメールで事務局に連絡すること。
8. 入会金および年会費を支払い後クーリングオフ期間の20日間をすぎたら、入会金及び年会費を返還請求することはできない。
9. 退会後に再入会する場合は、新規入会と同等の扱いとする。
10. J I Aに対して不利益な行動または、反社会的な行動が認められた会員は除名処分とする。
11. 非常識や悪意により、他人に迷惑をかけた場合は、日本イラストレーター協会の「ブラックリスト」に掲載する。

日本イラストレーター協会の歩み

- 一九九九年 四月 設立
四月 ホームページの開設
- 二〇〇〇年 一月 JIA通信を開始
- 二〇〇〇年 六月 第一回イラストコンペ開催
十二月 年度賞の制定
- 二〇〇一年 六月 第二回イラストコンペ開催
十二月 二〇〇一年度賞
- 二〇〇二年 六月 第三回イラストコンペ開催
十二月 二〇〇二年度賞
- 二〇〇三年 六月 韓国出版美術協会と交流会を開催
六月 第四回イラストコンペ開催
十二月 二〇〇三年度賞
- 二〇〇四年 四月 JIAのロゴを制作
六月 第五回イラストコンペ開催
十月 会員数が百名を突破
十二月 二〇〇四年度賞
- 二〇〇五年 三月 事務局を新宿区に移転
四月 認定証と会員証の発行開始
五月 第一回日本イラストレーター協会展
六月 第六回イラストコンペ開催
十二月 二〇〇五年度賞
- 二〇〇六年 一月 第一回会報発行
五月 第二回日本イラストレーター協会展
六月 第七回イラストコンペ開催
六月 第二回会報発行
十二月 二〇〇六年度賞
十二月 日本イラストレーター協会年鑑をCDで作成
- 二〇〇七年 一月 第三回会報発行
三月 第四回ZEN展に参加
五月 第三回日本イラストレーター協会展
六月 第八回イラストコンペ開催
六月 大阪で交流会（ユニバーサル・スタジオ・ジャパン）
十一月 第二十六回デザインフェスタに参加
十二月 二〇〇七年度賞

- 二〇〇八年 三月 第五回ZEN展に参加
五月 第四回日本イラストレーター協会展
六月 第四回会報発行
六月 第九回イラストコンペ開催
七月 第十五回東京国際ブックフェアに参加
十二月 二〇〇八年度賞
- 二〇〇九年 一月 日本イラストレーター協会年鑑二〇〇九ダウンロード開始
二月 第九回イラストコンペ入選者による作品展
三月 第六回ZEN展に参加
五月 第五回日本イラストレーター協会展
六月 第五回会報発行
七月 第十回イラストコンペ開催
八月 第十回イラストコンペ入選作品展（おじやら画廊）
十二月 二〇〇九年、年度賞
- 二〇一〇年イベント
- 二月 第十回イラストコンペ入選者による作品展（おじやら画廊）
三月 日本イラストレーター協会年鑑を紙媒体の本として出版
七月 ZEN展に参加
- 四月 新理事の就任
- 六月 第六回会報発行
- 七月 第十一回イラストコンペ開催
- 八月 第十一回イラストコンペ入選作品展（おじやら画廊）
- 十月 第六回日本イラストレーター協会展
オープンングパーティーと打ち上げ
- 十二月 二〇一〇年、年度賞の作品募集